

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	高齢者福祉	コード	作成者	役職	介護福祉課
		02-01-04		氏名	堀 俊策
			電話	64-1828	

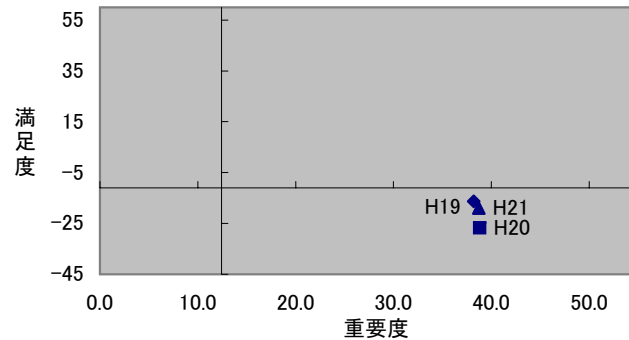
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	高齢者が元気に安心して暮らせるよう、各種事業を行う。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	平成20年度末、備前市の高齢化率は、29.8%、全国平均は22.1%(H20.10.1) 7.7ポイント上回っている。3人に一人が高齢者となり、独居老人や高齢者夫婦世帯が増えている中、いつまでも元気に生きがいを持ち、快適な生活ができるよう福祉サービスを推進する。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防事業の推進 生活支援サービスの充実 高齢者の社会参加の支援 地域社会づくりの支援

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	38.2	38.8	38.7	
満足度(%)	-16.3	-26.7	-19.0	



高 高 満 足 度 ↑ ↓ 低	<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p> <p><維持領域> 現状の方向を継続</p>	平均	<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p> <p><強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
低 ← 重要度 → 高			

調査結果に対するコメント、市民の反応等	高齢者福祉は、例年、重要度は高く満足度は低い、特に60歳以上の結果にはこの傾向が強い。高齢者福祉は、比較的元気な高齢者、虚弱な高齢者、介護保険の利用者などを対象に福祉サービスを提供している。また医療制度や福祉制度、国の制度、県、単市の制度があるため結果での判断が困難である。現財政状況の中では、質や量の見直しにより削減、縮小をしており結果がマイナスになる。また事業の廃止は満足度が下がる要因となる。
---------------------	---

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 高齢者が安心して生活できると感じる市民の割合	目標	%			各種サービスの周知に努め、市民意識調査のH20成果指標は若干上がった。	H21	13.0
	実績	%	16.6	11.5		H23	15.0
	達成率	%				H28	20.0
	ベンチマーク						
参考指標① 老人クラブ加入率	目標	%		43.0	全国的に老人クラブ離れが進んでいるが、社会参加意識の向上を目指す。	H21	38.0
	実績	%	45.0	42.0	会員数÷60歳以上=加入率	H23	39.0
	達成率	%				H28	42.0
	ベンチマーク				30.7(県平均30.7 H20.3/31現在)		
参考指標② 憩いの場設置箇所数	目標	箇所		60	同じこもりがちな高齢者の活動を支援する。	H21	60
	実績	箇所	55	58		H23	62
	達成率	%				H28	67
	ベンチマーク						
参考指標③ シルバー会員数	目標	人		190	高齢者の就労機会の増大と生きがい対策	H21	190
	実績	人	186	178		H23	200
	達成率	%				H28	250
	ベンチマーク						

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 生きがい創造事業	C	生きがいと創造の事業	補助	424	460	0.05	424	224	0.03	444	152	0.02	☆☆	その他	296
		シルバーカード交付事業	単市	31	460	0.05	0	591	0.08	0	387	0.05	☆	人件費のみ	0
2 日常生活用具給付事業	C	日常生活用具給付事業(補助事業分)	補助	0	0	0.00	44	75	0.01	51	228	0.03	☆☆☆	その他	211
		日常生活用具給付事業(単市分)	単市	66	190	0.025	5	75	0.01	0	0	0.00	☆☆	その他	0
		福祉電話貸与事業	単市	102	190	0.025	81	75	0.01	16	76	0.01	☆	その他	34
3 高齢者住宅改造成事業	C	高齢者住宅改造成事業	補助	2,052	1,140	0.15	3,425	524	0.07	2,406	531	0.07	☆☆☆☆	その他	1,998
		高齢者住宅整備資金貸付事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	76	0.01	☆	人件費のみ	0
4 老人福祉施設管理運営事業	B	老人福祉施設管理運営事業(備前)	単市	1,141	100	0.14	966	100	0.03	177	299	0.03	☆☆	その他	0
		老人福祉施設管理運営事業(和気老)	内部管理	14,046	545	0.05	13,023	654	0.06	12,833	0	0.00	☆☆☆☆	その他	12,653
		社会福祉事業団運営補助事業	単市	477	218	0.02	287	108	0.01	399	399	0.04	☆☆	その他	0
		老人福祉センター管理運営事業	単市	1,060	545	0.05	1,060	323	0.03	1,060	100	0.01	☆☆	その他	0
		福祉センター管理運営事業	単市	3,194	545	0.05	3,194	215	0.02	3,901	100	0.01	☆☆	その他	0
		介護老人ホーム番山荘用地借り上げ事業	単市	955	327	0.03	955	108	0.01	942	0	0.00	☆☆	その他	943
		介護老人ホーム番山荘管理運営事業	単市	525	100	0.01	0	0	0.00	994	100	0.01	☆☆	その他	0
		特別介護老人ホーム大ヶ池荘管理運営事業	単市	0	0	0.00	0	108	0.01	1,035	100	0.01	☆☆☆	その他	0
		デイサービスセンター番山荘管理運営事業	単市	0	0	0.00	3,277	108	0.01	0	100	0.01	☆☆	人件費のみ	1,499
		デイサービスセンター大ヶ池荘管理運営事業	単市	0	0	0.00	0	108	0.01	2,846	100	0.01	☆☆☆☆	その他	0
		デイサービスセンターこうら荘管理運営事業	単市	0	0	0.00	745	186	0.02	1,048	199	0.02	☆☆☆☆	その他	3,080
		デイサービスセンターしらうめ荘管理運営事業	単市	16,079	1,860	0.07	15,889	633	0.07	15,971	550	0.06	☆☆☆☆☆	義務的	15,077
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度			平成19年度			平成20年度					計
				253,999	36,284	4.03	234,532	31,917	3.94	208,103	17,859	2.04			175,493

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
包括支援センター	介護予防事業	介護の重度化を抑制する。
保健課・健康係	健康増進事業	健康増進や予防に対する取り組みを、若年期から身につける

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	市民の30%が高齢者となり、重点的に施策を推進すべきである。生きがいを持ち健康長寿で暮らせる施策を各部署で検討を要する。	3	高齢者が地域で元気に安心して暮らせるための事業であり、市として必要な事業である。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	財政状況により、各種事業は、質・量の見直しを行い削減傾向である。	3	高齢者の生きがい対策であり、事業構成は妥当である。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	市民が安心して生活できると感じる割合は低い。	3	高齢者が安心して生活できると感じている割合が昨年に比較し向上しており、有効な施策である。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	高齢化の進展により、取り巻く問題は多く、行政サービスの限界を感じる中、地域包括支援センターを中心に各種団体や関係機関等と連携し、共助・互助の地域力を確立し、行政のサポート役を育成することが望まれる。 高齢者が積極的に社会参加できるよう、行政、地域、各種団体が一体となって事業を進めていく必要がある。特に地域でリーダー的な役割を担う人材の育成も必要。			
二次評価者コメント 役職 民生部長 氏名 山口 和夫	高齢化率が毎年上昇している中で、高齢者が地域で元気に生活できるよう、特に介護予防を中心とした事業強化を図る必要がある。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
		3中立	平均的な配分	

施策名 高齢者福祉

(平成20年度事業)

⑥ 施策構成事務事業の評価(続き)

所 属 長 評 価

記入しきれない場合の
続き

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細 事 業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性 質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース	
				平成18年度			平成19年度			平成20年度						
				直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数				
5	B	老人保護措置事業	法定	96,656	3,050	0.34	93,322	1,164	0.14	94,579	1,262	0.16	☆☆☆☆☆	義務的	79,806	
		老人保護措置費事務事業	内部管理	37	90	0.01	40	524	0.07	5	835	0.11	☆☆☆☆	人件費のみ	48	
6	C	諸島地区福祉船運航事業	単市	6,969	3,140	0.40	5,698	1,652	0.25	5,720	394	0.06	☆☆☆☆	その他	5,784	
7	C	諸島地区高齢者等渡航費補助事業	単市	105	380	0.05	148	465	0.05	162	93	0.01	☆☆☆	その他	203	
8	C	寺山地区高齢者通院費事業	単市	69	475	0.05	87	93	0.01	65	0	0.00	☆☆☆	その他	102	
9	B	シルバー人材センター補助事業	単市	12,050	2,560	0.25	9,610	323	0.03	8,550	100	0.01	☆☆☆☆☆	その他	9,550	
10	C	老人クラブ事業	補助	7,112	5,413	0.58	6,520	4,099	0.49	5,053	2,027	0.25	☆☆☆☆☆	その他	1,834	
		高齢者健康づくり補助事業	補助	500	187	0.02	500	75	0.01	1,000	304	0.04	☆☆☆	その他	334	
11	A	保健福祉実態調査事業	補助	0	0	0.00	0	0	0.00	855	0	0.00	☆☆	H2O終了	0	
12	C	老人医療給付事業	補助	32,732	2,240	0.40	18,222	3,987	0.77	4,846	308	0.05	☆☆☆	その他	1,346	
13	B	民生委員児童委員活動助成事業	補助	9,598	7,065	0.70	9,236	12,936	1.38	8,590	7,350	0.74	☆☆☆☆	その他	818	
14	B	社会福祉協議会運営費補助事業	単市	22,442	835	0.08	20,000	218	0.02	16,000	100	0.01	☆☆☆☆☆	義務的	17,000	
		地域福祉推進事業	単市	10,426	209	0.08	12,102	201	0.02	5,442	0	0.00	☆☆☆☆☆	義務的	5,752	
15	C	敬老祝金支給事業	単市	300	440	0.05	300	257	0.03	600	835	0.11	☆☆☆	その他	800	
		敬老事業補助事業	単市	9,995	1,320		10,395	599	0.08					☆☆☆☆	その他	16,325
			単市	3,042	880	0.40	3,204	465	0.05	12,513	754	0.09	☆☆☆☆☆	その他		
単市	1,814	1,320		1,773	465	0.05						☆☆☆☆	その他			